

第 46 回原状回復対策協議会 (5 月 21 日開催) について

5 月 21 日 (土) に開催された第 46 回原状回復対策協議会の内容についてお知らせします。

1) 平成 22 年度末廃棄物撤去処分状況について

| 地区 | 廃棄物種別 | | 廃棄物推定量(t) | H23.3 月までの 処分実績(t) | うち H22 年度 処分実績(t) | 備考 |
|------|-------|----|-----------|-----------------------|----------------------|-------------------|
| | 特管 | 普通 | | | | |
| A | | | 65,800 | 65,800 | | 掘削完了(総量 65,800t) |
| B | | | 112,920 | 103,709 | 4,728 | 掘削完了(総量 103,709t) |
| D | | | 44,560 | 48,410 | 34,161 | |
| E | | | 530 | | | |
| F | | | 22,470 | 7,960 | | |
| H | | | 170 | 170 | | 掘削完了(総量 170t) |
| I | | | 13,440 | 13,440 | | 掘削完了(総量 13,440t) |
| J | | | 13,830 | 14,530 | 13,350 | 掘削完了(総量 20,332t) |
| K | | | 9,980 | | | |
| L | | | 9,440 | 9,440 | | 掘削完了(総量 9,440t) |
| M | | | 7,300 | 2,304 | | 掘削完了(総量 2,304t) |
| N | | | 11,910 | 7,121 | | 掘削完了(総量 7,121t) |
| O | | | 11,970 | 7,528 | 468 | |
| ドラム缶 | | | 各地区推定量に含む | 280 | 280 | |
| 計 | | | 324,320 | 280,692 | 52,987 | |

これまでに、A～O までの 13 地区のうち、8 地区の掘削が完了し(うち 7 地区処分完了)、今年度は D、E、F、K の 4 地区について掘削・選別を行うこととしています。

2) 平成 23 年度の廃棄物撤去処理事業について

3 月 11 日に発生した東日本大震災津波により処理委託を予定していた事業者が被災したことなどから、今年度の廃棄物撤去の目標は 21,000 トンとしました。このことにより、処理事業進捗に遅れが生じますが、平成 24 年度までには撤去を完了することとしています。なお、今年度は特別管理産業廃棄物を優先して処理することとしています。

3) 汚染土壌対策について

バイオレメディエーションにより浄化を行っている N 地区では、4 月末時点で全 87 区画中 70 区画(80%)の地下水の全 VOC が環境基準値以下となりました。

その他の D、G、J 及び O 地区では浄化工事に着手し、B、F 及び K 地区については順次着手することとしています。

4) 平成 22 年度の環境モニタリング結果について

全体として、検出される有害物質は低減傾向にあります。

平成 21 年 11 月 30 日より環境基準項目に追加された 1,4-ジオキサンは、35 地点中 23 地点で検出され、そのうち 15 地点で環境基準(0.05mg/以下)を超過しました(最大値 23mg/)。

また、塩化ビニルモノマーは、8 地点で検出され、そのうち 6 地点で環境基準(0.002mg/以下)を超過しました(最大値 0.067mg/)。

第 47 回原状回復対策協議会を次のとおり開催する予定です。

どなたでもご自由に傍聴できます。

日時 平成 23 年 7 月 30 日(土) 午後 2 時 10 分

場所 二戸地区合同庁舎 1 階 大会議室(二戸市石切所字荷渡 6-3)

廃棄物の撤去状況について(平成 23 年 5 月末現在)

5 月の撤去はありませんでした。

3 月末までに、岩手県側の推定総量 324,320 トンのうち、280,692 トン(86.5%)を撤去しました。